

第4期都筑区地域福祉保健計画素案 区民意見募集結果

NO.	意見内容	頁	対応の考え方
1	「地域がもつ力をわかちあえる」は「協働」とはベクトルが違うのではないか。	28,30	推進の柱3のキーワードに【共有】を追加しました。
2	「生活保護」というワードが1回くらいしか出てこないが、都筑区は少ないのか。そういう人への施策は特になのか。	12,45,48,49	生活困窮者に関する施策は柱2-1-2、2-2-1～3に記載しています。また、生活困窮者自立支援制度と地福計画についての関係についてコラムを記載しました。
3	重点項目1-3施策①「心のバリアフリー・多様性の理解促進」の定量評価に都筑多文化・青少年交流プラザでの取組も入れてほしい。多様性の理解促進という意味では、事業理念が一致している。	41	柱1-3-1の活動指標に「つづきMYプラザ（都筑多文化・青少年交流プラザ）での取組」を掲載しました。
4	「支援が必要な人に必要な情報を届ける」ではなく、「支援が必要な人に必要な支援を届ける」方が先ではないか。SDGs 2について語るべきと思う。	43	推進の柱2「お互いにささえあい、必要な人に支援が届く仕組みづくり」としており、情報を届けるだけでなく、必要な支援が届く仕組みづくりを進めていきます。
5	教育の視点での評価指標を載せると良いのではないか。	45	柱2-1-2の活動指標として「区内小学校と連携した命の授業実施回数」を記載しました。
6	重度心身障がい者が日中通える施設を地域の中に作ってほしい。医療ケアの必要な障がい者が地域で健やかに過ごせるよう、場所の確保について計画の素案に入れてほしい。	48	柱2-2-1の内容（2）を一部修正し、障害者の方等が過ごせる場づくりの推進について記載しました。
7	おおむね多方面の支援に網羅した内容となっており、ともしっかり考えていただけていると思った。特に妊娠期からの支援に加えて、産後支援（コロナ禍での孤立）を充実させてほしい。また、転入者の多い区であることから、養育者を孤立させない支援の充実、健康づくりの中に心の健康にも目を向け心と身体の連動した健康づくり（うつ、自殺予防など）また子どもの引きこもり、虐待などにもより一層力を入れていきたい。関係機関とのネットワークがさらに必要とされる。	48,51	柱2-2-1、柱2-3-2を一部修正し、こころの健康問題についても記載し取組を推進していきます。 今後も地域福祉保健の推進にご協力をお願いいたします。
8	柱2-3-1地域主体の健康づくりの推進で、具体的な取組の中で「オーラルフレイル」予防にも着眼してほしい。	51,52	柱2-3-2、2-3-3の具体的な取組にオーラルフレイル予防について記載し取組を進めていきます。
9	こころのケアがより重要な局面になってきている。特にコロナ禍で引きこもり、不登校が増加している、地域の療育センターの定員を増やす、発達障害のフォローを強化する。 予防接種をすべて公費負担し、現時点で接種年齢から外れたヒトパピロウイルス（子宮頸がん）ワクチンも救済措置を適応する。	51	柱2-3-2に子どもや働き・子育て世代の心の健康について記載し、具体的な取組について検討を進めていきます。
10	経済的問題を加える家族が増えているようにみられる。フードバンクなど上手に利用して家庭の支援に関わる組織作りも必要。	59	柱3-2-1の具体的な取組に「◆フードドライブの活用、フードバンク等との連携、推進」を記載しました。
11	今、食べるのに困っている人に対する施策がない。都筑区にも子ども食堂や生活保護者はいる。 SDGs 2が1件で多世代の交流とは？福祉保健計画で問題にしなければ、どこから語られるのか？と思う。	59	柱3-2-1の具体的な取組に「◆フードドライブの活用、フードバンク等との連携、推進」を記載しました。
12	地福推進体制の分野ごとの検討する場について、例示を出したほうが分かりやすいのではないか。	68	第6章計画の推進体制の地域福祉保健計画の推進体制の図に分野ごとの検討する場を記載しました。
13	「具体的な取組」は良い方向性だと思うが、関係協力機関の協力度がどの程度あるのかまだ見えない。		計画を評価する際に関係機関の協力状況を確認していきます。
14	施策①の具体的な取組の「心のバリアフリーの推進」について、もっと具体的内容を記載できないか。		第4期計画を推進していくなかで具体的内容を検討していきます。
15	「地域」に主眼を置いた構成にされていることが、よく表現されていると思う。この方向性を踏まえ、「地域共生社会の実現」に向かっていることが実感できるような、これからの一年一年となることを望む。あらためて地域を基盤として考える以上は、より具体的な地域連携の取組と、なるべく断片的にならない、ゆるやかなつながりを生み出すことが重要だと思います。そしてそれが具体的な成果につながる必要があるのではないか。		いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。

第4期都筑区地域福祉保健計画素案 区民意見募集結果

NO.	意見内容	頁	対応の考え方
16	<p>子育てに必要な情報発信、当事者の悩みへの理解、緩やかな見守りや気付きのための取組は、「地域」をベースにした計画そのものを理解しやすいと思う。その中で、中高生世代を中心とした事業を実践している現場では、「声かけ」も大事になっている。見守りと気づきだけでなく、必要に応じた声かけが加わると、一歩進んだ理解につながるのではないかと感じた。また子ども・青少年部会員としては、どこかに「青少年」という言葉を入れられないものかと思った。</p>		<p>いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
17	<p>提案したい活動 ・都筑区民の幸福度を高める</p> <p>理由 ・幸福度は日常の意識で高めることができる・幸福が伝播する・幸福な人は、利他的・自己肯定感が高い・創造性がそうでない人の3倍</p> <p>目指す姿を実現できる理由 ・幸福度の高い人は利他的なので、互助活動が広がる・幸福度の高い人は利他的なので、区民の転入出がある地域なので新しい区民を支えることができる ・幸福度の高い人は利他的なので、老若男女に対し、必要な支援を日常の場面で行うことができる ・幸福は伝播するので、都筑区に住み人は幸福度が高まり、人生を楽しめる</p> <p>方法 ・ケアプラザ単位でハッピーワークを開催する・定期的に幸福度診断を行う</p>		<p>いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
18	<p>町内会・自治会、地区社協など地域住民やボランティア組織への負担増は勘弁してほしい。すでに限界。</p>		<p>いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
19	<p>基本理念を大切に、地域のつながりづくりを進める。小・中学校でも保健活動について基本的な内容を教える広げることが大切だと思う。</p> <p>3期までに各地域で人と人のつながり活動が増えてきた。"子育て"子どもの成長を見守り、健やかに育つ為のお手伝いとして、親子の広場、預かり場を各町内会に作り、高齢者は場の提供と見守りをするだけで良い。</p> <p>H16"佐江戸会館ふれあいサロン"がスタートした。当初は自主的に高齢者も参加していたが、赤ちゃんから2、3歳の子どもの声、高齢者には辛かったようだ。</p>		<p>いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
20	<p>サービス・支援の情報が確実に届く仕組みづくりを重点としてほしい。ボランティアの育成なども必要だが、リモートなどによる研修を定期的に行うなど継続した意識を持たせる工夫が必要。</p>		<p>いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
21	<p>都筑区では他区に比べて支援者、団体等のネットワークはかなりすすんでいると感じている。しかしまだまだ届かない地域への支援、必要な家庭をみつけだす工夫など課題を感じている。充実した支援には乳幼児一時預かりなどの預かりの支援、養育者への補助や団体への補助の充実なども検討してほしい。</p>		<p>いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
22	<p>区内に古くから世話人を活用していけたら良いと思う。子育て両親に相談することが必要である。若い人は自己中心で子どもに対しても家庭教育が出来ない人が目立ってきた。</p>		<p>いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
23	<p>最近は働いている方が多く、発達障害を持つお子さんをキッズクラブで預かる事がある。放課後等デイサービスのようその子にあった適切な支援は正直全くできない。子育て支援にはいるが、お子さん側からみると、必要な支援を受けることが出来ていないのが非常に辛い。障害を持つお子さんの保護者に「放課後等デイサービス」についてお知らせしたりすすめたりする機会がどのくらいあるのか。情報を得ても選ぶのは保護者ですが、「本当に必要な情報を届ける事」がとても大切だと感じている。</p>		<p>いただいたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>